

2020年11月20日  
多摩都市モノレール株式会社

## モノレール車両に非常用脱出シューターを導入

～より安全で迅速な避難が可能になります～

多摩都市モノレール株式会社（本社：東京都立川市、社長：醍醐 勇司）では、「安全の確保」を最大の使命と位置づけ、さらなる安全性向上に努めておりますが、このほど駅間で車両が運行不能となった際の避難器具として『非常用脱出シューター』を初めて導入し、11月20日（金）から1編成で使用を開始する運びとなりました。これにより、万一の時でもより安全・迅速に避難していただくことが可能になります。来年度以降、他の編成にも順次設置を進め、最終的には全16編成に設置する予定です。

詳細は下記のとおりです。

### 記

#### 1. 非常用脱出シューターの概要

火災などの際に避難する器具としてビルなどで使用されているもので、車両客室の窓からシューター部分を地上に下ろし、筒状のシューター内をお客様がらせん状に滑り降りるものです。4両編成のモノレールの最前部と最後部の車両に1基ずつ、計2基設置します。

シューターは長さが25mあり、当社線の最高地点（地上から22m）でも安全に地上まで降りることが可能です。



車両の窓から地上に下ろしたシューター（左写真：車外・右写真：車内）

## 2. 導入の目的

高所の軌道の上を走行するモノレールでは、万一、駅間で車両が運行不能となった場合に鉄道や新交通システムのように線路上を歩いて避難することができません。このため、隣の線路または前後に別の車両を停車させ、車両間に横断用のブリッジを架けて避難していただく方法が基本となっており、それが困難な場合は消防等のはしご車での救出や、車両に搭載した「スローダン」という緩降機を使って降りていただくことになっております。

これらに加え、「非常用脱出シューター」が設置されることにより、より安全で迅速に避難していただくことが可能になります。

## 3. 使用開始及び今後の設置スケジュール

1 編成目には既に設置が完了しており、使用方法の教育等を行った上で11月20日（金）から使用を開始します。来年度以降、他の編成への設置を順次進め、最終的には全16編成に設置する予定です。

## 4. その他

非常用脱出シューターを設置した車両については設置個所の座席が4席ずつ、1編成当たり8席減りますが、機器収納部分の前にも立っていただくことは可能で、収納箱の上は荷物置きとしてご利用いただけます。（右写真参照）



以上

### 【お問合せ】

多摩都市モノレール株式会社 運輸部運転グループ  
TEL042-526-7800（受付時間 平日 9:00～17:45）